

急性期脳梗塞に対する放射線部門体制と画像検査の実態調査（アンケート調査）

1. 【目的】 2018年に、『健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法』が成立し、その基本理念には医療体制の整備が明記され、急性期脳梗塞症例についても適切な画像診断体制の整備が必要とされています。これまで急性期脳梗塞症例に対する放射線（画像診断）部門の取り組みについての調査報告はなく、各医療施設の運用に委ねられているのが現状です。本研究では各医療施設の取り組みと画像診断機器を用いた撮影条件を調査し、急性期脳梗塞症例における適切な画像診断体制の構築について検討を行います。

2. 【研究方法と調査項目】 救急医療施設の診療放射線技師を対象として、web上にてアンケート調査を行います。調査項目は、脳卒中症例に対する放射線部門体制と急性期脳梗塞を疑われた場合におけるCT検査やMRI検査の撮影条件と、救急搬送から治療として行われる血管撮影までの診療体制についてです。

3. 【対象と実施期間】 アンケート調査対象は、脳卒中症例に関する画像の撮像を行う診療放射線技師及びその施設です。研究実施期間は研究承認日～令和4年3月31日までです。

4. 【個人情報保護と結果の公表】 個人を特定できるデータは扱いません。収集したデータは、アクセス制御及びウイルス対策ソフトの導入を行ったパスワード付きのPCに保存します。また、収集したデータは本研究の目的以外には使用しません。本研究で得られたデータにつきましては、学術発表や論文などを通じて公表します。

5. 【研究に協力することの利益と不利益】
本研究への参加は自由意志に基づいています。従いまして、研究への参加の可否により、施設や個人が利益や不利益を被ることはありません。

6. 【研究の開示】
本研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は資料を入手または閲覧することが可能です。

7. 【研究対象者に研究への参加を拒否する権利を与える方法】
本研究への情報提供を拒否されるかたは、下記お問い合わせ先まで申し出てください。

お問い合わせ先 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
〒598-8577 泉佐野市りんくう往来北2-23 電話 072-469-3111（代表）
放射線技術科 西池 成章（研究責任者）